

高気圧医学専門医制度規則

第1章 総則

第1条 一般社団法人日本高気圧環境・潜水医学会（以下、本会）は、高気圧医学（高気圧酸素治療および潜水医学）の進歩発展を促し会員の質を向上させ、もって国民の福祉に貢献することを目的として専門医制度を設ける。

第2条 この制度は高気圧医学専門医制度と称する。

第2章 高気圧医学専門医制度の運用

第3条 本会は、高気圧医学専門医制度を適正、かつ円滑な運用をはかるために、高気圧医学専門医認定委員会（以下、専門医認定委員会）を設置する。

第4条 専門医認定委員会は、本会の代表理事が理事会の議決を経て委嘱した若干名の委員によって構成される。

第3章 高気圧医学専門医および高気圧酸素治療の認定施設の認定審査

第5条 本会は、高気圧医学専門医および高気圧酸素治療の認定施設（以下、認定施設）の認定を審査するために、専門医認定委員会を設置する。

第4章 高気圧医学専門医認定申請の資格

第6条 高気圧医学専門医の認定を得ようとする者は、次の各項に定める資格をすべて満たさなければならない。

1. 医師免許取得後、別に定める関連学会（別表1）の認定医ないし専門医であること。
2. 高気圧酸素治療と潜水医学に関して深い知識と経験を有すること。
3. 申請時において、引き続き3年以上、本会会員であること。

4. 本会の認定施設あるいはそれに準ずる施設において、細則に定める期間の高気圧酸素治療勤務歴を有すること.

第5章 高気圧医学専門医の審査および認定

第7条 高気圧医学専門医の認定を得ようとする者は、細則に定める申請書類を、申請手数料とともに専門医認定委員会に提出しなければならない。

第8条 専門医認定委員会は、毎年1回、高気圧医学専門医申請書類の審査および試験に基づいて、専門医としての適否を決定し、その結果を代表理事に報告する。

第9条 代表理事は、専門医認定委員会の報告に基づき、高気圧医学専門医として適格と認めた者を、理事会の議を経て認定し、認定証書を交付する。

第6章 高気圧医学専門医認定の更新

第10条 高気圧医学専門医認定の有効期間は交付の日から5年とする。引続き高気圧医学専門医の認定を得ようとする者は、細則に定める高気圧医学専門医認定の更新手続きを行わなければならない。

第11条 専門医認定委員会は、毎年1回、高気圧医学専門医更新申請書を審査し、その結果を代表理事に報告する。

第12条 代表理事は、専門医認定委員会が更新審査の結果、高気圧医学専門医として適格と認めた者を、理事会の議を経て認定し、新たに認定証書を交付する。

第7章 申請内容についての直接審査

第13条 専門医認定委員会は、必要に応じて申請書類の内容について申請者に対して直接説明を求めることができる。

第8章 高気圧医学専門医認定の喪失および取り消し

第14条 高気圧医学専門医は次の各項の理由により、その認定を喪失する。

1. 高気圧医学専門医が自ら辞退したとき.
2. 本会会員の資格を喪失したとき.
3. 高気圧医学専門医の更新手続きが行われなかったとき.

第 15 条 高気圧医学専門医として不適格と認められたとき，代表理事は専門医認定委員会，理事会および社員総会の議を経て，高気圧医学専門医の認定を取り消すことができる．ただしこの場合，その高気圧医学専門医に対し，弁明の機会が与えられなければならない．

第 9 章 高気圧酸素治療の認定施設の資格および認定

第 16 条 本会は，次の各項の条件を満たしており，高気圧医学専門医の育成にふさわしい高気圧酸素治療施設を，認定施設として認定する．

1. 当該施設の責任者は原則として本会が認定した高気圧医学専門医であること．
2. 本会が認定した高気圧酸素治療専門技師が勤務していること．
3. 当該施設が高気圧酸素治療安全協会に加入していること．

第 10 章 高気圧酸素治療の認定施設の認定更新

第 17 条 高気圧酸素治療の認定施設の認定有効期間は交付の日から 3 年とする．引き続き認定施設の認定を得ようとする施設は，その更新の手続きを行わなければならない．

第 18 条 専門医認定委員会は，毎年 1 回，認定施設の更新申請書類を審査し，その結果を代表理事に報告する．

第 19 条 代表理事は，専門医認定委員会が認定施設として，更新を適切と認めた施設を，理事会の議を経て認定し，認定証書を交付する．

第 11 章 高気圧酸素治療の認定施設の認定喪失

第 20 条 高気圧酸素治療の認定施設は次の各項の理由によりその認定を喪失する．

1. 高気圧酸素治療の認定施設の認定を辞退したとき．

2. 第16条に定める条件に該当しなくなったとき.
3. 高気圧酸素治療の認定施設の認定を更新する手続きが行われなかったとき.

第12章 補則

第21条 この規則を施行するため、別に細則を定める.

第22条 この規則は専門医認定委員会、理事会および社員総会の議を経て変更することができる.

第23条 旧規則により、高気圧酸素治療専門医を取得している者は、高気圧医学専門医とみなす.

付則 この規則は、平成21年4月1日から施行する.

この改定は、平成26年4月1日から施行する.

この改定は、平成26年9月6日から施行する.

この改定は、平成28年12月20日から施行する.

高気圧医学専門医制度施行細則

第1章 高気圧医学専門医制度の施行および運用

第1条 高気圧医学専門医認定委員会（以下、専門医認定委員会）は、高気圧医学専門医制度規則および施行細則の運用を管理し、運用にあたって生じた疑義を処理する。

第2条 専門医認定委員会は、高気圧医学専門医ならびに高気圧酸素治療の認定施設の認定およびその更新に関する業務を担当する。

第2章 高気圧医学専門医認定委員会

第3条 日本高気圧環境・潜水医学会（以下、本会）の代表理事は、理事会の議決を経て、次の各号の委員を委嘱する。

1. 認定業務を管掌する本会の理事1名
2. 本会の会員若干名
3. その他、理事会が必要と認めた会員若干名

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、連続3期（6年）を超えることはできない。

第5条 専門医認定委員会の委員長は、細則第3条1に掲げる委員をもって充てる。

第6条 委員に欠員を生じたときは、その後任は委員長が推薦し、委員会の議を経て代表理事が委嘱する。補充によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第7条 専門医認定委員会は定員の3分の2以上の出席を要し、議決は出席者の過半数によって行う。やむを得ない理由により専門医認定委員会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項に書面で票決することができる。

第3章 高気圧医学専門医認定申請資格の基準

第8条 高気圧医学専門医になろうとする者は、規則第6条に定める以外に、次の各項に定める資格をすべて備えていなければならない。

1. 高気圧酸素治療装置を有する医療施設において、2年以上の高気圧酸素治療の実地経験（実務経験）を有すること。
2. 本会が定める専門医研修講座を申請前の3年以内に受講していること。

第4章 高気圧医学専門医認定の申請書類

第9条 高気圧医学専門医の認定を受けようとする者は、次の各項に定める書類を専門医認定委員会に提出しなければならない。

1. 高気圧医学専門医認定申請書
 - 1) 履歴書
 - 2) 高気圧酸素治療勤務歴一覧
 - 3) 高気圧酸素治療勤務証明書
2. 高気圧医学に関連する業績目録（学術論文、学会発表、学会出席）
3. 指定する学会（別表1）の認定医ないし専門医認定証（写し）
4. 専門医研修講座の受講証（写し）

第5章 高気圧酸素治療施設における勤務歴の証明

第10条 高気圧医学専門医の認定を受けようとする者は、高気圧医学専門医申請書の高気圧酸素治療勤務歴記載事項について、勤務した施設ごとに責任者の証明を得なければならない。

第6章 高気圧医学専門医の更新

第11条 高気圧医学専門医認定の有効期限の満了にともない、引き続いて高気圧医学専門医の認定を得ようとするものは、過去5年間の会員歴および高気圧酸素治療の診療実績または潜水医学の指導歴が

あり、次に定める申請書類を資格認定が失効する2ヶ月前の月末までに委員会に提出しなければならない。所定の日限までに更新手続きを行い得なかった者は専門医資格失効後1年以内に理由を付して専門医認定委員会に届け出を行い、承認を得た上で次年度に所定の認定更新の申請を行わなければならない。

1. 高気圧医学専門医認定更新申請書

- 1) 履歴書
- 2) 業績目録：学術論文，学会発表，学会出席
- 3) 2) の証明（写し）

*：業績目録には、専門医認定委員会が定める別表2の配点にしたがい、日本高気圧環境・潜水医学会学術総会出席1回以上を含め、総合計25単位以上を取得していなければならない。

やむを得ない理由なく所定の期間に生涯教育単位を取得できなかった者は、専門医認定委員会に届け出るにより認定更新の期限を1年間に限り延長できる。

第7章 高気圧医学専門医の申請と審査料

第12条 申請者は毎年、専門医認定委員会が定めた月日までに、申請書類を提出しなければならない。

第13条 申請手数料は次の通りである。

高気圧医学専門医審査手数料 20,000円

高気圧医学専門医更新手数料 20,000円

第14条 既納の審査手数料ないし更新手数料は返納しない。

第8章 登録料

第15条 高気圧医学専門医認定証書の交付を受ける者は、登録料として30,000円を納入しなければならない。

第16条 既納の登録料は返却しない。

第9章 例外措置

第17条 専門医認定委員会は、規則第10条にかかわらず、疾病療養・国内外留学・介護・産休・育休、などの理由により認定期限前までに予め更新手続をとれなかった者については、3年間を限度として認定更新の期限を延長することができる。

第10章 補則

第18条 細則第11条にいう業績にかかわる単位数は、別表2に定める配点にしたがうものとする。

付則 この細則は、平成28年12月20日から施行する。

この細則は、平成29年11月10日から施行する。

この細則は、平成30年11月29日から施行する。

別表1 日本高気圧環境・潜水医学会が定める関連学会

- ① 基本領域の医学会
- ② 日本集中治療医学会
- ③ 日本心臓血管外科学会
- ④ 日本呼吸器外科学会
- ⑤ 日本消化器外科学会
- ⑥ 日本小児外科学会
- ⑦ 日本循環器学会
- ⑧ 日本呼吸器学会
- ⑨ 日本宇宙航空環境医学会
- ⑩ 日本産業衛生学会
- ⑪ 全国レベルの学会（地方会を含む）および外国での高気圧医学に関する学会

別表 2 更新に必要な単位数に関する配点法

区分	学会と学術誌の種別	単位数	
		筆頭者	筆頭者以外
学術論文	日本高気圧環境・潜水医学会雑誌に掲載された論文など	8 単位	2 単位
	日本高気圧環境・潜水医学会雑誌に掲載された短報など	4 単位	1 単位
	日本高気圧環境・潜水医学会が認める学術誌に掲載された論文など ^{注1}	4 単位	1 単位
学術集会発表	日本高気圧環境・潜水医学会学術総会	8 単位	2 単位
	日本高気圧環境・潜水医学会地方会	4 単位	1 単位
	日本高気圧環境・潜水医学会が別に定める学術集会 ^{注1}	4 単位	1 単位
学術集会出席	日本高気圧環境・潜水医学会学術総会	16 単位	
	日本高気圧環境・潜水医学会地方会	4 単位	
	日本高気圧環境・潜水医学会専門医研修講座	8 単位	
	日本高気圧環境・潜水医学会教育集会	*16 単位 (基礎編 8 単位・臨床編 8 単位)	
	高気圧酸素治療安全協会教育セミナー	4 単位	
	日本高気圧環境・潜水医学会が別に定める学術集会	2 単位	

注 1 高気圧医学に関するものに限る。